

平成23年度 第7回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成23年10月25日(火)
開会 午後2時00分
閉会 午後3時04分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 河 田 厚 子
委員長職務代理者 荒木田 直 美
委 員 武 井 勝 彦
委 員 佐々木 浩 二
教 育 長 山 中 忠
- 4 出席職員 教 育 次 長 大 塚 実季雄
(学校教育課長事務取扱)
教育総務課長 高 須 利 幸
生涯学習課長 中 嶋 保 雄
生涯学習課スポーツ振興室長
池 内 実
学校給食センター所長
森 義 則
図 書 館 長 加 茂 博 美
- 5 事務局職員 教育総務課副主幹 中 澤 一 志

平成23年11月24日

1 委員長開会宣言

委員長 平成23年度第7回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成23年度第6回定例会議会議録承認（署名人：武井委員，佐々木委員）

3 教育長報告

・10月12日に副校長・教頭面接を実施した。副校長・教頭が，各学校の課題をどのようにとらえ，取り組んでいるのかを協議した。

・10月17日から11月上旬まで，所長訪問，次長訪問が実施される。授業参観や帳簿の点検等を実施することにより，各学校にとっても振り返る良い機会になっていると思う。

・11月29日から12月議会が開催される。

4 教育委員報告

委員 10月10日に開催された「とみさとスポーツ健康フェスタ」に出席した。各種目に多くの方が参加され，大変盛況であった。長期にわたり準備をされていたスポーツ振興室の職員に感謝したい。今後の課題としては，小学生向けの競技が多いので，中高年層が参加することができる競技や行事があればよいと思う。スポーツ健康フェスタに限らず，日頃から体力・健康づくりを目指して欲しいと思う。余談ではあるが，茨城県第2区選出の石津政雄衆議院議員が旧大洋村の村長であった頃，村民の健康づくりを目的に，60歳台の体力を全国平均の40歳台まで上げたとのテレビ報道があった。そのことによって，村の医療費を大幅に削減することができたとのことであった。本市においても，中高年層の体力づくりを進めていけたらよいと思う。

また，10月8日に浩養小学校の放課後子ども教室に出席した。初めて見学させていただいたが，教科書に載っていないことをボランティアの方から遊び感覚で学んでいた。大変に良い事業であるので，今後も継続して実施して欲しいと思う。

委員 9月の定例会議終了後，文部科学省を訪問した。前教育長は大変元気な様子で，現在，国立教育政策研究所において，授業改善につなげるカリキュラムマネジメントについて研究しているとのことであった。最初に，新教育課程のねらいと着眼点についてお話いただき，その後，庁内を案内していただいた。旧庁舎に，当時使用されていた教科書や文房

具，給食のサンプル等が年代別に展示されており，自分の小学校時代を思い出し，大変懐かしく拝見させていただいた。最後に，大瀬国立教育政策研究所企画課長を講師に勉強会が開催され，いじめ，不登校を減らすヒントをテーマに，色々な事例をもとに話をさせていただいた。特に興味深かったのは，ある中学校で，1年生でいじめが大きく減少したという謎を解く鍵は，実は小学校の取組にあったという話であった。大変有意義な時間を過ごさせていただいた。

また，10月1日に開催された洗心小学校運動会に出席した。例年どおり，洗心小学校ならではの，ほのぼのとした暖かみのある運動会で，楽しく拝見させていただいた。本年度は，子どもたちの健康に配慮して，残暑の厳しい時期を避け10月の開催となり，暑さを気にすることなく伸び伸びと競技ができたことは大変よかったと思う。校長先生をはじめ諸先生方のきめ細かい指導のおかげで，どの種目にもしっかり取り組んでいたことが印象的であった。しかしながら，年々児童数が減少しているため，見ている寂しい状況であった。洗心小学校は，学校，地域，PTAが一体となって子どもを育てるといった素晴らしい環境がある。今後，統合といったことも考えられるが，学校，地域，教育委員会が一緒になって子どもたちにとって一番良い環境を提供できるようにしたいと思う。

委員 10月20日に開催された小中学校音楽祭に出席した。午後の部から見せていただいたが，はじめにトランペットとピアノ奏者によるミニコンサートがあった。子どもたちにわかりやすく説明をしながら，素晴らしい曲を演奏していた。また，例年，洗心小学校が午前の早い時間に発表していたが，今年は午後の部の発表であった。午後の部は，中学校の保護者が多く，その保護者が洗心小学校の歌声を聞くことができよかったと思う。中学校3校の吹奏楽も素晴らしい演奏で，楽器の準備や後片付け等もスムーズでよく運営され感心した。

委員長 10月1日に向台幼稚園，8日に日吉台幼稚園の運動会にそれぞれ出席した。向台幼稚園の運動会は，大変寒い中の開催であったが，半袖・半ズボンで元気に走ったり，踊ったりする園児の姿は，大変立派で感動した。また，中沢麦つき踊り保存会による踊りが行われ，園児と一緒に踊っていたことは素晴らしいと思った。

また，10月4日に生活リズム向上標語コンテストの審査会に出席した。昨年より応募者が増え，一般部門においても，一人の方が多くの作品を提出されていたり，直接市役所に提出する方がいたりするなど，多数の応募があったようである。作品全体に早寝早起き朝ごはんのフレーズがかなり根付いていると感じた。

また、10月7日に印教連教育委員長会議に出席した。その中で、北総教育事務所の小川指導主事による「印旛地区の生徒指導の現状と課題」についての講演があった。最近では印旛地区においても、暴言を含む教師への暴力が増えており、イライラしている生徒たちの矛先が教師に向いているのではという話があった。小学校時に論理的な指導がなされないままくすぶっているものが、中学校になって爆発するのではないかとの見方をされており、それも一理あると感じた。また、健全育成の推進ということで、国立教育政策研究所の生徒指導提要を示し話をされていた。私も先月、文部科学省に行った際にリーフレットをいただいたが、小・中・高等学校の生徒指導の先生方に配布して欲しいと宣伝をされており、他市町の委員長も興味深く拝見されていた。問題傾向の子どもは、社会的なルールを教わっていないかわいそうな子どもとして、学校に来て欲しくないという姿勢ではなく、罪を憎んで人を憎まずということで、愛情深く接し子どもを育てて欲しいという言葉が印象的であった。

5 専決処分の報告

(1) 行事の後援について

教育長 報告第1号は、NPO富里のホタルから、「第4回講演会 ホタルが語る里地・里山の環境目標」の開催に当たり後援申請があったので、10月7日付けで後援を承認したものである。

また、もりのこびとたちから「としくらえみ講演会とワークショップ」の開催に当たり後援申請があったので、9月30日付けで後援を承認したものである。

また、財団法人全日本リトルシニア野球協会関東連盟から、「第17回富里リトルシニアリーグ杯少年野球大会」の開催に当たり後援申請があったので、10月19日付けで後援を承認したものである。

< 質疑等 >

質疑等なし

6 報告事項

(1) 平成23年度富里市立幼稚園園児募集状況について(学校教育課)

学校教育課長 資料に基づき説明

< 質疑等 >

質疑等なし

(2) 2011とみさとスポーツ健康フェスタ スポーツレクリエーション大会(10月10日開催分)の実施結果について(生涯学習課)

スポーツ振興室長 資料に基づき説明

< 質疑等 >

委員長 ストレッチ・ウォーキング教室の講師はどのような方か。

スポーツ振興室長 神奈川県から来ていただいた中原先生という方である。
ここ数年、講師をお願いしている。

委員長 私も、以前に参加させていただいたことがあるが、運動量も多く、
非常に楽しく運動できた経験がある。

(3) 月例報告(各課等)

教育総務課

・10月13日に庁議・予算編成会議が開催された。来年度の予算についても、引き続き厳しい状況との説明があった。

・10月14日に教育施設耐震化整備等事業計画推進会議が開催された。会議では、第一次計画において、平成24年度に耐震工事実施予定となっていた洗心小学校については、学校の今後のあり方が確定していないため、富里南小学校と順番を入れ替え、平成24年度に富里南小学校、平成25年度に洗心小学校とした。また、第二次計画として、3月11日の東日本大震災の際に落下した体育館の非構造部材、主に天井を取り除く工事を、平成25年度から実施する計画としたものである。

・11月24日に第8回教育委員会定例会議が開催される。

・11月29日から12月議会が開催される。

委員長 教育施設の耐震化について、体育館の工事は平成25年度中に終了するのか。

教育総務課長 体育館の工事については、平成25年度から平成30年度まで順次実施する予定となっている。

学校教育課

・10月1日、8日、9日に洗心小学校及び各幼稚園の運動会が開催された。

・10月3日に校長会が富里第一小学校において開催された。

・10月中は北総教育事務所の各訪問が実施される。

・10月25日、31日、11月11日に各中学校のわくわく working が実施される。なお、昨年度までは5日間であったが、今年度は3日間の実施となった。

・10月31日に北総教育事務所指導室訪問が実施される。教育委員の皆様には授業参観をお願いしたい。

- ・ 11月1日に校長会が洗心小学校において開催される。

学校給食センター

- ・ 10月13日に千葉市新港学校給食センターを視察した。
- ・ 10月21日に千葉県学校給食センター研究会第一地区所長会議が、本市において開催された。
- ・ 10月12日，18日に学校給食センター施設統合整備事業基本設計打ち合わせを行った。

生涯学習課

- ・ 10月4日，11日，18日，25日，11月5日に浩養小学校放課後子ども教室が開催される。
- ・ 11月17日に生涯学習・家庭教育講演会及び情報交換会が開催される。
- ・ 11月3日から6日まで，中央公民館を会場に文化祭が開催される。展示・発表・行事の各部門のほか，6日については，富里市民寄席を開催する予定となっている。
- ・ 11月7日に千葉県社会教育振興大会が，千葉県総合教育センターにおいて開催される。なお，当日の社会教育功労者表彰において，富里ユネスコ協会の高田敏秋会長が表彰される予定となっている。

委員 文化祭の児童・生徒の作品展示については，昨年度と同様に幼稚園と小学生の作品だけで，中学生の作品の展示はないのか。

生涯学習課長 絵画の展示については，その予定である。

委員 昨年も意見を述べさせていただいたが，中学生の展示がないのは，展示スペースに余裕がないこと，中学生が見に来ることが少ないなどの理由とのことであった。小中の教育の観点から中学生の作品を展示しないことはいかかなものかと思う。その件については，先生方からも意見をいただいております。昨年度も報告したと思う。中学校の先生方もあまり積極的ではないと聞くが，そういったことは提案の方法で解決できると思う。どのようにしたら盛んな文化祭にすることができるのかを検討したほうがよいと思う。募集の時期が県展と近いことから，作品の準備が大変であるとの話もあるので，絵画に限らず工作などでもよいと思う。例年の内容に限ることなく，今の学習内容がどのように変わってきているのかを確認し，展示内容を決める必要があると思う。学校は，運動会終了後，カリキュラムを変更して文化祭用の作品を準備しており，展示内容を広げるにより提出しやすくなると思うので，ぜひ検討してい

だだきたい。

生涯学習課長 次年度以降の文化祭の内容について、いただいた意見を参考に協議したいと思う。

委員長 昨年度も、委員から色々な提案をしていただいた。しっかりと検討願いたい。

生涯学習課スポーツ振興室

・10月10日にとみさとスポーツ健康フェスタが開催された。内容については、先ほどの報告のとおりである。また同日、富里北中学校区総合型地域スポーツクラブ運営会議が開催された。

・10月15日に総合型地域スポーツクラブ「富里南桜クラブ」地域説明会が、富里南中学校区の自治会長、体育指導委員、地元選出議員を対象に開催された。

・11月18日に教育長顕彰表彰式が開催される。

委員長 富里北中学校区総合型地域スポーツクラブの進捗状況は。

スポーツ振興室長 9月に富里北中学校区の自治会長を対象に説明会を開催した。これで地元に対する説明会は一段落し、有志による運営会議を開催する運びとなり、その会議が10月10日に行われた。今後は、視察や運営会議を重ね、平成24年度に準備委員会を設立する予定となっている。

図書館

・10月12日に福岡県立図書館企画協力課の視察が行われた。

・10月23日に第3回富里歴史講座が開催され、48人が参加した。

・10月25日から27日まで富里北中学校、11月1日から2日まで富里南中学校のわくわくワーキングを、それぞれ受け入れる。

・11月25日から12月2日まで雑誌リサイクルを実施する。

7 その他

図書館長 平成23年度図書館年報が出来上がったので、ご査収願いたい。

また、浩養小学校市民図書室のサービス見直しや改善を行うための資料として、別添資料のとおりアンケートを実施することとなった。実施対象は、富里南小学校、浩養小学校、洗心小学校、富里南中学校在校生の保護者を考えている。

委員 今回の実施対象は、南部地区の保護者ということであるが、保護者以外の地域の方々の利用データはあるか。

図書館長 浩養小学校市民図書室については、南部地区における図書のサービスポイントに位置づけられていることから、今回のアンケートの対象を南部地区の小中学校在校生の保護者とした。保護者以外をアンケートの対象とするのは予算的な面もあるため、今回は保護者を対象とした。

また、利用者データについては手元に資料がないため、後ほどお示しさせていただきたい。

委員 今回のアンケートの集計結果と併せて、データについてもお知らせさせていただきたい。

委員 学校給食センターの残菜処理について提案させていただきたい。現在、残菜については、学校給食センターで直接支出していないものの、年間約800万円をかけてクリーンセンターで処理している。この金額は、他のごみと一緒に収集・処分されるため正確ではないが、発生量や距離等で算出した金額である。残菜については、減らす工夫はされているものの、調理残菜も含め限度があり、今後も発生し、負担し処理していくものである。処理については、新清掃工場が稼動すれば収集距離が増え、委託費が増加することが考えられる。このような事情から、学校給食センター施設整備事業においては、発生する残菜について、センター内に生ごみ処理機を設置し、発酵促進材を製造することを提案したい。発酵促進材は堆肥とは異なり、豚糞や牛糞、わらなどにかけて発酵を促進させ良質な堆肥を作ることができるとされている。本市の基幹産業である農業、特にスイカにおいて、青枯れ等による連作障害も含め地力の減退が懸念されている。中には収穫直前に枯れてしまう場合もあり、農家は堆肥作りに苦労している。発酵促進材を製造することで、その素を提供しようとするものである。直接堆肥にした方が良いように思われるが、残菜には様々な食材があるので、堆肥の成分が一定しないが、発酵促進材にすれば、より安定したものになる。発酵促進材を使えば、例えば15トン程度の堆肥を素に数100トンの堆肥ができることになる。生ごみ処理機を使用した際の経費の比較については、仮に機械の耐用年数を15年として試算した場合、現行のごみ処理で約1億2,000万円、ごみ処理機で約5,000万円となり、経費的にも有利に処理することができる。発酵促進材として製品化したものについては、JA富里が窓口となり、農家に計画的配分を行うこととなり、JAや農家の期待も大きい。学校給食センター施設統合整備事業については、色々と大変であると思うが、ぜひ取り入れていただきたい。資料には、処理機の実物写真や八街市の事例も添付しており、千葉県内でも給食の残菜を堆肥化している自治体もある。千葉県においても、循環型の農業を推奨して

いるので、本市においても実施して欲しいと思う。

委員長 残菜については、私たち教育委員も大変に気にしているところである。今回の提案はあくまでも一例であるので、この方法に限らず残菜の処理について十分検討願いたい。

委員 武井委員からいろいろな情報をいただいた。問題点等もあるとは思いますが、ぜひ検討して欲しいと思う。

学校給食センター所長 最終的に教育委員会として、また市としてどのように対応するのかを含め、協議させていただきたい。

8 委員長閉会宣言

委員長 以上で、平成23年度第7回富里市教育委員会定例会議を終了する。